

「エモテット」と呼ばれるウイルス感染を狙うメールに注意！ 絶対に URL や添付ファイルは開かないで！

全国的に「エモテット」と呼ばれるコンピューターウイルスへの感染を狙うメールが確認されています。当センターにおいても、企業・団体を装った「なりすましメールが送信された」という苦情が複数寄せられています。

特に、過去にやり取りしたメールが攻撃者に盗まれ、その内容やメールアドレスが転用され、ウイルスメールとして送られてきます。重要な顧客や取引先、知人からのメールに見えても、すぐに添付ファイルやURL リンクは開かず、本物のメールなのか、送付先のアドレスなどを十分確認し、必要に応じ送信元に電話等で確認しましょう。

【事例1】60歳代 女性

最近、公的機関からメールが頻繁に届いている。月1回ほど定期的に情報が送信されていたが、今回は1時間に3件届き、「ご確認下さい」のメッセージと添付のWordファイルとパスワードのみである。送信元を確認するとアドレスが違う。

【事例2】50歳代 男性

取引先の名称でメールが届いた。実際にその相手と以前メールのやり取りをしたが、今回のメールは、文面がなく添付のExcelファイルとパスワードのみである。急ぎの要件かと考え、まず内容を確認しようとファイルを開いてしまった。特に意識せず貼付ファイルを開くために「コンテンツの有効化」ボタンもクリックしたと思うが感染の可能性はあるか。

【ひとこと助言】

2021年12月の最新情報として、攻撃者が「ウイルスによってメールを盗み、そのメールの関係者にウイルスメールを送信。攻撃が成功したら、そこからまたメールを盗み、そのメール関係者を攻撃する」という手口を繰り返し、攻撃対象を拡大している状況です。

- ・身に覚えのないメールの添付ファイルは開かない。メール本文中のURL リンクはクリックしない
- ・自分が送信したメールへの返信に見えるメールであっても、不自然な点があれば添付ファイルは開かない。添付ファイルを開いてしまった場合には、すぐにシステム管理部門等へ連絡する。
- ・OS やアプリケーション、セキュリティソフトを常に最新の状態にする
- ・信頼できないメールに添付されたWord やExcel ファイルを開いた時に、マクロやセキュリティに関する警告が表示された場合、「マクロを有効にする」「コンテンツの有効化」というボタンはクリックしない
- ・メールや文書ファイルの閲覧中、身に覚えのない警告ウインドウが表示された際、その操作が分からない場合には中断する
- ・詳しくは、下記士別地区広域消費生活センターにご相談下さい。

消費生活相談専用ダイヤル (0165) 23-3820

午前8時30分～午後5時15分（土・日・祝日・年末年始を除く）

■事業者と消費者間の契約に関するトラブルや、消費生活で悩んでいる方専用
来所相談、電話相談、電子フォームでのご相談も受けています

（右記アドレスからアクセスし相談内容を入力）→<https://www.harp.lg.jp/MiYrWNqj>

